

「慶應らしさ」の 継承のために

応援指導部は、多くの方々に「慶應らしさ」を伝えるべく、応援活動をはじめとするさまざまな活動を行っています。

現在、塾生の皆さんはそれぞれ、さまざまな目的やきっかけを経てここ、慶應義塾に集っているかと思えます。慶應義塾の理念、すなわち福澤先生の教えには、どんなバックグラウンドを持つ方々も包摂する教訓が含まれており、それらに触れることで「慶應らしさ」を体感できると考えています。活動を通して「慶應らしさ」を分かりやすく伝え、「慶應に入って良かった」と皆さんに感じてもらえるような機会を提供することを目指しています。

キャンパスから長く離れている塾員の方々にも、古くから続く慶應の良さ、そして時代を追うごとに刷新される雰囲気をお届けし、あらためて母校に思いをはせ、その姿に誇りを感じていただければと思っています。

応援指導部

畑山美咲君（看護医療学部4年）



伝統の七夕祭 花火を担う責任

花火師会

私たち花火師会の最大の活動は七夕祭花火企画の実現です。花火とともに流す曲の選定から演出決め、打ち上げ準備、警備などの作業を花火師会のサークル員60人で分担して行っています。今年度も大学や花火会社のご協力をはじめ、多岐にわたる関係者の方々との調整の下で花火企画を成功に導くことができました。打ち上げまでの過程は苦労や困難がありながらも、非常に充実していました。企画終了後に頂いた拍手や歓声は忘れられません。

一方で、普段の活動では演出決めに不可欠な花火の種類についての勉強を重ねたり、定期的にプライベートで花火を打ち上げることで適切な花火打ち上げの手順を学んだりしています。この知識や経験が七夕祭花火企画に生きているのです。来年度以降も「SFCならではの」の花火を安全に打ち上げられるよう努力しますので、七夕の季節にぜひSFCに足を運んでみてください！ 鴨池の水面に光り輝く花火、いかがですか？



今井章太君（総合政策学部3年）